

大磯

第1回臨時会（4月28日）

3月定例会の閉会後成立した政府予算の景気対策を実行するための臨時会を4月28日に行うことになっていた。

しかし、3月22日に旧吉田茂邸が焼失し、再建のための基金条例が主な議題となった。

さらに、万台こゆるぎの森の国際学園との契約の白紙撤回を求める決議、町長不信任決議が提出された。

旧吉田茂邸再建基金条例 否決

特別委員会設置へ

3月22日に焼失した旧吉田茂元首相邸の再建を図るため、募金活動の受け皿となる基金設立の条例案が提出された。

質疑は9名、その後の討論では賛成、反対各4名の計8名が行い、採決の結果、賛成6、反対7で否決した。

主な質疑

募集期間は

基金を募集する期間は、

県立公園として全面開園を予定している平成24年度末までを考えている。できるだけ早く募集し、

町がどういう形で住民とともに参画していくのかを国、県に発信したい。

5億円の根拠は

新聞報道では寄付金目標5億円としているが、

基金条例には、金額の目安が必要である。県の

再整備計画では建物の改修に5億円から10億円かかることもあり、最低限の5億円とした。

税金の投入はあるか

5億円に満たない場合、一般財源を投入しているのか。

再建に向けて県と町が連携を図り、役割分担が明らかになるなかで、今後の検討となる。

再建計画は

再建計画の中身は、

出来る限り元の姿への復元を、国民、県民、町民は望んでいる。どこまで再建できるかは、今後の調査研究が必要となる。人々の関心が高いうちに、再建に向けた基金の受け皿づくりが重要だ。

再建の具体的な説明は

具体的には再建は外交資料館、迎賓館、全部復元、一部復元のどれになるか。

全国からの応援を基金で求め、再建規模を決めたいが、専門性が非常に高く、県などと協議が必要。規模ではなく、再建という方針を決めて進めていきたい。

出火原因は

火災の出火原因は、

22日出火後、現場を確認し25日午前中まで神奈川県捜査一課と町消防署合同で原因調査を行った。最終的にこれだという証拠が見つからず、原因は不明となっている。

反対討論

町民の理解が必要

町民無視、議会無視の行政だ。慎重で十分な審議や準備期間が必要。町民対話集会を開き、多くの町民の理解を求めること。

計画が無責任

町は寄付の受け皿をつくり、寄付の額によって計画を決めるというが、無責任だ。24年度の県立公園全面開園に合わせるとあるが、条文に期限明記がなく、基金の処分ができないことが想定される。

賛成討論

先立つものは資金

県は21年度予算の用地買上げ料約25億円を可決した。予定は、23年度庭園の無料公開、24年度邸宅の有料公開だったが、焼失した。先立つものは資金だ。県の意向は町の主体的取り組みを条件に復元に協力。記憶が新しい時期にすべきだ。

町の姿勢を示す

町ができる最大限のことは、なるべく多くの寄付を集めてできる範囲のことをする姿勢を示すこと。

特別委員会の設置

旧吉田茂邸再建基金条例が否決され、議員より特別委員会設置が提案された。

議会として、吉田邸再建ができるよう国や県への要望事項の整理、また、町の活性化のための条件整備を7月臨時会まで特別委員会と審議していきたいとの理由で設置が決まった。

主な質疑

町は寄付金の額を見ながら内容を変えていくというが、どのようなイメージか。

委員会を作って各委員の意見の総意をつめたい。財政健全化を実行中なのに、否決してから何を決めるのか。

町民全体の合意の上で寄付を集め応援していく。

旧吉田茂邸再建特別委員会

- 委員長 山口陽一
- 副委員長 山田喜一
- 委員 三澤龍夫
- 委員 高橋英俊
- 委員 坂田よう子
- 委員 土橋秀雄

議案2提案 決

国際学園との定期借地権契約をめぐる決議案2件が提案された。3月30日に臨時の議員全員協議会が開かれ、翌31日に契約を結ぶとの報告を受けていた。

国際学園との契約の白紙撤回を求める決議は可決

提出者土橋議員、賛成者山口議員から「大磯町と国際学園との契約の白紙撤回を求める決議」が提出され、可決した。

議員全員協議会を開催し、その後、町長に「議会対応の改善を求める申し入れ」を行った。3月議会最終日、議会は契約に関する議案を否決した。町は「3月中旬に契約を交わすことは考えていない」と答弁したにもかかわらず、50年の定期借地権契約をした。

この度重なる対応は、町民や議会に大きな不信感を招き、大きな禍根を残すことは必至であるという理由。昨年12月26日、臨時の議

事は「3月中旬に契約を交わすことは考えていない」と答弁したにもかかわらず、50年の定期借地権契約をした。この度重なる対応は、町民や議会に大きな不信感を招き、大きな禍根を残すことは必至であるという理由。

三好町長の不信任決議は否決

提出者渡辺議員、賛成者浅輪議員から「大磯町長の不信任決議」が提出されたが、否決した。

提案理由

国際学園との覚書締結を議会に隠蔽し、発覚するまで報告しなかった。また3月中旬に契約を締結することは考えていない、との議場で発言を破棄し31日に締結した。議会での約束を守らない、

議会制民主主義の根幹を踏みにじる暴挙を見逃すことは、議会の使命を果たさないことになるので提案した。特別多数議決では否決されるかと分かっているから、問責決議で可決するほうが良かったのではないかと答へた。否決になると分かっていたが、町民を欺く行為が続いた。不信任しかな、という私の気持ちである。

補正予算

一般会計に約5千117万円を追加し、総額約85億6千117万円とする補正予算が提出され、可決した。

なお、否決した旧吉田邸再

建基金関連の予算は、執行しないと町から説明があった。

主な質疑

プレミアム付商品券発行

1千250万円増

問 商工振興推進事業とは。

答 商工業の活性化のため

県内最大の25%付商品券

を発行する。町19%、商工

会6%を負担。5千部販

売し、町内全店で使える。

雇用対策事業

3千14万円増

問 国の雇用対策事業の一

環だが、条件と内容は。

答 期間が決められており、

町の企画した事業で文化

財資料整理や図書館窓口

業務などを委託する。

高校生奨学金制度新設

194万円増

問 新設の理由と内訳は。

答 生活支援として世帯へ

授業料補助をする。月額

県立高4千円で18人分、

私立高1万円で9人分。

賛否結果

議案番号	議案	議員名	百瀬恵美子	渡辺順子	山口陽一	三澤龍夫	高橋英俊	坂田よう子	竹内恵美子	奥津勝子	浅輪いつ子	清水弘子	柴崎茂	山田喜一	鈴木京子	土橋秀雄	結果
22	専決処分の承認を求めることについて (大磯町町税条例の改正 固定資産税の経過措置の規定の追加等)		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
23	専決処分の承認を求めることについて (大磯町国民健康保険税条例の改正 介護納付金分の課税限度額9万円を10万円に引き上げる規定の改正等)		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	承認
24	旧吉田茂邸再建基金条例		-	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	●	●	否決
-	旧吉田茂邸再建特別委員会の設置		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
25	平成21年度一般会計補正予算(第1号)		-	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	可決
決議案第2号	大磯町と国際学園との契約の白紙撤回を求める決議		-	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	可決
決議案第3号	大磯町長三好正則君の不信任決議 ※町長の不信任議決は、特別多数議決で、議長を含む出席議員数の4分の3以上の者(11名)の同意が必要となる。		●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	否決

○は賛成 ●は反対 -は議長のため議決に加わらない

6月本会議は6月2・9・10・12日
第3回臨時会は7月24日に開催します